

主催:立命館大学国際言語文化研究所 研究所重点研究プロジェクト

「風景・空間の表象、記憶、歴史」研究会

共催:立命館大学産業社会学会

平成28年7月22日(金)17:00-19:00

立命館大学アート・リサーチセンター多目的ルーム

事前申込・参加費無料 通訳あり

# 認知的空間、グローバルブレイン、 ハイブマインドー情報コミュニケーション・ テクノロジーの進化論的解釈

## ジョス・デ・ムル氏

(エラスムス大学哲学部正教授、元国際美学学会会長)



【講演要旨】情報コミュニケーション・テクノロジーズ(ICTs)の出現は、人類の認知的な進化における画期的な出来事であったと見なされ、ヒト属(genus Homo)の認知的構造の二つの主要な推移としての話言葉の発展、そして書き方の発明に比肩するものである。最近の情報コミュニケーション・テクノロジーズによって明らかになった新しい認知的空間を十分理解するためには、ICTをこの二つの推移に対して位置づけるべきで、インターネット、ワイアレスコミュニケーションやブレイン・インプラントなどの新テクノロジーは、進行しているグローバルブレイン構造やハイブマインド(集団思考)出現の一部である。